

地域まちあるきガイドマップの分布と特徴： 東京都23区内におけるJR主要駅を事例として

有賀，奈那 / ARIGA, Nana

(出版者 / Publisher)

法政大学地理学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

JOURNAL of THE GEOGRAPHICAL SOCIETY OF HOSEI UNIVERSITY / 法政地理

(巻 / Volume)

48

(開始ページ / Start Page)

71

(終了ページ / End Page)

82

(発行年 / Year)

2016-03-18

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012913>

地域まちあるきガイドマップの分布と特徴 —— 東京都 23 区内における JR 主要駅を事例として ——

有賀 奈那

近年、地図は地域の情報を伝達し、人と地域の繋がりをより密にし、地域の活性化を図る手段として、幅広い分野において利用されている。中でも特に目にすることが多いものが、フリーペーパーを用いた紙媒体の地域まちあるきマップである。フリーペーパーは、自由度が非常に高いため、一つの分野にとらわれず、多様な情報を伝達できるのである。

本論文では、フリーペーパーで、かつ、地図を取り入れたまちあるきマップが、東京都 23 区内のどのような場所に分布し、どのような特徴を持っているのかを一誌一誌分析した。その結果、まちあるきマップは、大きなターミナル駅に存在する東京駅型、訪日外国人が多く存在する秋葉原駅型、その他街の紹介がメインで作成された中野駅型の 3 つに分類することが出来た。本論文では、この 3 パターンのまちあるきマップが担う役割や、特徴を見出すことで、現在のまちあるきマップの在り方を明らかにする。

キーワード：まちあるきマップ、フリーペーパー、地域活性化、地図、観光、駅

Keywords：city walking map, free paper, regional vitalization, map, sightseeing, station

I はじめに

地図は、情報を伝達するコミュニケーションの手段として使用されている。近年では、地図を用いて地域の情報を伝達し、人と地域の繋がりをより密にし、地域の活性化を図る手段としても使用され、幅広い分野において活躍している。中でも、地域で特に活躍し、誰もが目にすることがあるのが駅前や街中に点在する紙媒体の地図、フリーペーパー¹⁾を使用した地域マップである。フリーペーパーは自由度が非常に高く、地図のほかに様々な情報を組み込むことが可能である。そのため、フリーペーパーを使ってまちあるきマップを作成すれば、多様な情報を伝達でき、地域の特徴を存分に生かしたまちあるきマップが発信できるのである。また、観光客と地域住民の双方に、地域の活動を伝える情報手段として活用することができる。まちあるきマップは、地域の理解を深めるということにおいて重要な役割を担っているのである。

そこで、本論文では地域まちあるきマップに着

目する。それらがどのような地域に分布するのか、地域まちあるきマップの内容にどのような特徴があるのかを明らかにしていく。そして、本研究において明らかになった事柄を、今後のフリーペーパーの活用方法や地域の活性化につなげていくことが、調査の目的である。

まちあるきマップ、フリーペーパーの双方を取り上げた先行研究は以下が挙げられる。平河内・川原（2013）は、自治体発行の行政広報と、一部の自治体が発行している地域情報誌に着目し、地域情報誌の行政的な位置づけ、行政広報及び地域情報誌の内容、編集方法の特徴、それらに対する読者の評価を明らかにした。また、小地沢・菅原（2012）は、一般的には情報媒体として利用されているフリーペーパーに着目し、地域マネジメントとしての役割を果たす可能性について述べている。さらに、実際にフリーペーパーの作成から着手し、実在する商店街の地域活性化施策を行った河内・森本（2013）や、まちあるきガイドブック内における散策ルートマップで、街の広がりや他の街とのつながりに着目し、東京の場所同士のつながりにおけるイメージの一端を明らかにした奥

山他（2011）など都市地理学からのアプローチも
うかがうことが出来る。

以上より、フリーペーパー及びまちあるきマッ
プを題材とした研究は、多分野からアプローチは
なされているものの、論文の数はまだ不十分であ
るように思える。平河内・川原（2013）は、自治
体が発行しているもののみを扱っており、個人や
企業のもはまだまだ研究の余地があると考え
る。また、この論文で扱う地域情報誌は、日本国
内全域にわたる広範囲な研究であるため、さらに
狭い範囲においてのフリーペーパーの研究の存在
意義も存分にあると筆者は考える。そこで、本論
文では、行政広報以外のフリーペーパーで、かつ、
地図を取り入れたまちあるきマップが、東京都
23 区内のどのような場所に分布し、それらのま
ちあるきマップがどのような特徴を持っているの
かを分析し、明らかにする。

Ⅱ まちあるきマップの概要

1. まちあるきマップ

まちあるきマップとは、観光ガイドブックに付
属する地図に店舗情報などの情報を書き込んだも
のであり、地域の魅力を存分に記している。目的
を持たずに知らない街を散歩しようと考えた際、
まず駅を降りて周辺案内図や、駅のラックに設置
してある地図やフリーマガジンなどが目に入れば、
それを頼りに散歩を開始する人が少なからず
存在するだろう。

このように、まちあるきマップは、簡単に手に
することが出来、気軽に目を通し地域を知ることが
出来る。一部有料のものも存在する²⁾が、原則
無料であり、駅や商店街など人々が多く行きかう
場所に設置してあり、いつでもだれでも手にする
ことが出来る。あまり注目を浴びる存在ではない
が、実は地域の特徴を人々に伝える重要な役割を
担っているのである。

2. 地域まちあるきガイドマップの定義

まちあるきマップとは、国土交通省国土地理院
街歩きマップコンテスト³⁾ 優秀作品展のサイトに

よると、「自分たちが住む街の歴史・文化・自
然・工芸・祭り・郷土料理・温泉などの情報を地
図にまとめたもので、魅力のあるまちづくりや観
光客の誘致に欠かせない資料」とされている。こ
の定義には「観光客の誘致に欠かせない資料」と
あり、まちあるきマップは、観光客に向けたもの
が多く存在するということが推測できる。

しかし、まちあるきマップは、必ずしも観光客
をターゲットとしたものではなく、地域住民や外
部の者が読者となる可能性もあるのではないか。
フリーペーパーを用いた地域まちあるきマップの
内容が多様であるならば、読者の使用の用途にも
多様性を秘めているのではないか。

そこで、本論文で対象とするまちあるきマッ
プを、①無料のフリーペーパー・フリーマガジン、
②サイズは問わず凡例を伴った地図がフリーペ
ーパー内に記載されているもの、③日程、場所、地
図のみが記載されたイベント用のチラシではない
もの、④行政広報、クーポン紙誌⁴⁾、求人広告で
はないもの、⑤発行団体、用紙サイズの形式は問
わない、とする。本論文内では、以上の5つにあ
てはまるまちあるきマップを対象とし、これらを
「地域まちあるきガイドマップ」として扱ってい
く。

Ⅲ 地域まちあるきガイドマップの分布 と分類

1. 研究対象地域の設定

I で述べたように、日本全国の行政広報を扱っ
た研究は平河内・川原（2013）で既出であるため、
この研究よりもさらに絞った狭い範囲で研究を進
めていきたいと考えている。そこで、本論文では
東京 23 区内の駅に置かれた地域まちあるきガイ
ドマップを研究の対象とする。また、JR 東日本
の駅に注目し分布を調査する。その際、本論文で
は狭域に絞るため、2013 年度 JR 東日本駅別乗車
人員ランキングベスト 100 から東京都内 23 区内
に立地している駅を抜粋し、48 の駅を抽出した⁵⁾。

第 1 表は、JR 東日本乗降者数上位 100 の駅と
その内訳を表記し、加えて東京 23 区内の駅にそ
の駅が立地している区を表記したものである。こ

第1表 2013年度JR東日本駅別乗降者数ランキングベスト100と対象駅の表示（網掛けが対象駅）

順位	駅名	定期(人)	定期外(人)	合計(人)	東京23区	順位	駅名	定期(人)	定期外(人)	合計(人)	東京23区
1位	新宿	349,980	401,038	751,018	新宿	51位	浦和	29,125	55,104	84,229	×
2位	池袋	228,365	321,985	550,350	豊島	52位	仙台	44,160	39,379	83,539	×
3位	東京	196,897	219,011	415,908	千代田	53位	武蔵溝ノ口	28,379	53,124	81,503	×
4位	横浜	156,947	249,646	406,593	×	54位	登戸	25,855	54,609	80,464	×
5位	渋谷	175,518	203,020	378,538	渋谷	55位	川崎	26,499	53,911	80,410	×
6位	品川	142,078	193,582	335,660	港	56位	鶴見	25,882	52,390	78,272	×
7位	新橋	97,840	157,195	255,035	港	57位	巣鴨	30,681	46,408	77,089	豊島
8位	大宮	90,255	155,224	245,479	×	58位	舞浜	46,427	30,067	76,494	×
9位	秋葉原	130,193	110,133	240,326	千代田	59位	新小岩	23,524	48,781	72,305	葛飾
10位	北千住	51,879	151,548	203,427	足立	60位	原宿	47,713	23,152	70,865	渋谷
11位	高田馬場	76,490	125,023	201,513	新宿	61位	新木場	27,424	43,407	70,831	江戸川
12位	川崎	77,994	119,015	197,009	×	62位	南越谷	24,723	46,094	70,817	×
13位	上野	93,692	88,188	181,880	台東	63位	代々木	36,325	33,690	70,015	渋谷
14位	有楽町	76,639	90,726	167,365	千代田	64位	御徒町	30,660	36,932	67,592	台東
15位	立川	71,458	88,952	160,410	×	65位	北朝霞	21,066	46,316	67,382	×
16位	浜松町	60,939	94,844	155,783	港	66位	桜木町	32,864	32,527	65,391	×
17位	田町	41,324	103,108	144,432	港	67位	武蔵境	20,593	44,738	65,331	×
18位	大崎	49,604	93,792	143,396	品川	68位	小岩	21,638	41,649	63,287	江戸川
19位	蒲田	48,446	91,282	139,728	大田	69位	橋本	22,870	39,884	62,754	×
20位	吉祥寺	58,272	81,009	139,281	×	70位	平塚	18,972	42,514	61,486	×
21位	中野	51,962	86,505	138,467	中野	71位	王子	21,117	39,949	61,066	北
22位	船橋	46,745	89,830	136,575	×	72位	海浜幕張	24,132	35,383	59,515	×
23位	恵比寿	62,416	71,137	133,553	渋谷	73位	武蔵小金井	19,188	40,315	59,503	×
24位	五反田	53,142	79,382	132,524	品川	74位	新横浜	27,755	31,702	59,457	×
25位	西船橋	48,892	81,922	130,814	×	75位	市川	19,660	39,492	59,152	×
26位	柏	38,846	82,214	121,060	×	76位	南浦和	23,097	35,997	59,094	×
27位	武蔵小杉	42,515	72,746	115,261	×	77位	市ヶ谷	20,145	38,755	58,900	千代田
28位	町田	42,850	68,090	110,940	×	78位	藤	17,610	41,179	58,789	×
29位	戸塚	30,823	79,164	109,987	×	79位	長津田	20,239	38,362	58,601	×
30位	国分寺	35,805	73,014	108,819	×	80位	東戸塚	16,551	41,936	58,487	×
31位	目黒	46,965	59,572	106,537	品川	81位	本八幡	20,816	37,457	58,273	×
32位	藤沢	35,550	70,703	106,253	×	82位	亀戸	20,450	36,242	56,692	江東
33位	千葉	41,745	64,066	105,811	×	83位	辻堂	18,429	37,705	56,134	×
34位	御茶ノ水	40,714	64,023	104,737	千代田	84位	茅ヶ崎	17,898	37,846	55,544	×
35位	津田沼	30,269	73,812	104,081	×	85位	関内	27,397	27,907	55,304	×
36位	錦糸町	45,737	57,784	103,521	墨田	86位	新浦安	15,913	39,252	55,165	×
37位	日暮里	45,827	56,990	102,817	荒川	87位	浅草橋	20,665	32,661	53,326	台東
38位	大井町	39,465	60,937	100,402	品川	88位	国立	17,839	35,597	53,236	×
39位	松戸	30,869	68,549	99,418	×	89位	菊名	19,706	33,448	53,154	×
40位	神田	40,375	57,214	97,589	千代田	90位	大塚	24,170	28,972	53,142	豊島
41位	西日暮里	36,220	61,048	97,268	荒川	91位	西川口	17,256	35,813	53,069	×
42位	大船	34,913	62,205	97,118	×	92位	北浦和	15,166	35,560	50,726	×
43位	大森	33,217	59,744	92,961	大田	93位	稲毛	16,190	33,947	50,137	×
44位	三鷹	31,028	61,695	92,723	×	94位	高円寺	20,387	28,848	49,235	杉並
45位	四ツ谷	30,626	61,805	92,431	新宿	95位	武蔵浦和	16,909	31,701	48,610	×
46位	飯田橋	33,526	57,669	91,195	千代田	96位	金町	15,464	32,423	47,887	葛飾
47位	赤羽	37,433	52,308	89,741	北	97位	駒込	18,953	28,537	47,490	豊島
48位	狹路	33,121	52,910	86,031	杉並	98位	田端	19,369	25,746	45,115	北
49位	水道橋	40,094	45,226	85,320	文京	99位	阿佐ヶ谷	17,950	26,348	44,298	杉並
50位	八王子	36,327	48,864	85,191	×	100位	鎌倉	23,083	19,757	42,840	×

の表からもわかるように、本論文の対象駅は、東京駅、秋葉原駅、中野駅などの48駅となる。また、ほとんどの駅には駅構内や改札付近に、区の広報や地域情報誌が置かれているラックが設置されており、地域まちあるきガイドマップは同ラックに置かれていることが多い。よって、本研究では、街中ではなく駅構内のみを対象⁶⁾とする。

2. 地域まちあるきガイドマップの分布

本研究で扱う48の駅のうち、地域まちあるきガイドマップに相当するものが存在したのは、第2表に記載した20の駅であった。また、地域ま

ちあるきガイドマップの数としては30紙誌を探し出すことが出来た。第2表は、本研究の対象駅における地域まちあるきガイドマップの有無を表示したものである。第2表をみると、新宿駅、池袋駅、東京駅などの乗降者数の多い駅、高円寺駅、阿佐ヶ谷駅などの多数の商店街を有する駅、亀戸駅、大森駅などの地域における特徴を有する駅に地域まちあるきガイドマップが存在し、一方で、小さな駅や、上位の駅に比べて接続する路線が少ない駅には地域まちあるきガイドマップは存在しなかったということがわかる。

第2表 地域まちあるきガイドマップ有無

(○：有，×：無)

駅名	マップ有無	駅名	マップ有無
新宿	○	西日暮里	○
池袋	○	大森	○
東京	○	四ツ谷	×
渋谷	○	飯田橋	×
品川	○	赤羽	×
新橋	○	秋葉	×
秋葉原	○	水道橋	×
北千住	○	東横	×
高田馬場	×	新小岩	×
上野	○	原宿	○
有楽町	×	新木場	×
浜松町	×	代々木	×
田町	○	御徒町	×
大崎	×	小岩	×
蒲田	×	王子	×
中野	○	市ヶ谷	×
恵比寿	×	亀戸	○
五反田	×	浅草橋	×
目黒	○	大塚	×
御茶ノ水	×	高円寺	○
錦糸町	○	金町	×
日暮里	○	駒込	×
大井町	×	田端	×
神田	×	阿佐ヶ谷	○

3. 地域まちあるきガイドマップの分類

地域まちあるきガイドマップを分析したところ、地域まちあるきガイドマップには、地図を除いた共通項目が主に5つ挙げられるということがわかった。一つ目が、駅の中の案内図を記した「駅構内図」、二つ目が、施設や店舗の名称や営業時間、写真やコメントを記した「施設情報」、三つ目が、無料wi-fiスポットを地図中に記した「wi-fiマップ」、四つ目が、訪日外国人や在留外国人に向けた「外国語表記」、五つ目が、地域の年間行事を月ごとにまとめた「イベントカレンダー」である。地域まちあるきガイドマップは、これらのいずれかの項目を含み、構成されているのである。

第3表は、各駅の地域まちあるきガイドマップにどのような項目が存在するのかを表にまとめたものである。○はあり、×はなしで表している。施設情報欄の△は、施設や店舗名称のみ、または、営業時間や住所、電話番号のみのものを表している。外国語表記欄の△は、基本的には日本語表記であるが、一部訪日外国人に向けた情報があるものを表している。第3表を参考にし、駅構内図と施設情報のみに○がついている駅をタイプⅠ、wi-fiマップと外国語表記の両方、または、い

第3表 地域まちあるきガイドマップの共通項目

(○：有，×：無，△：本文に記載)

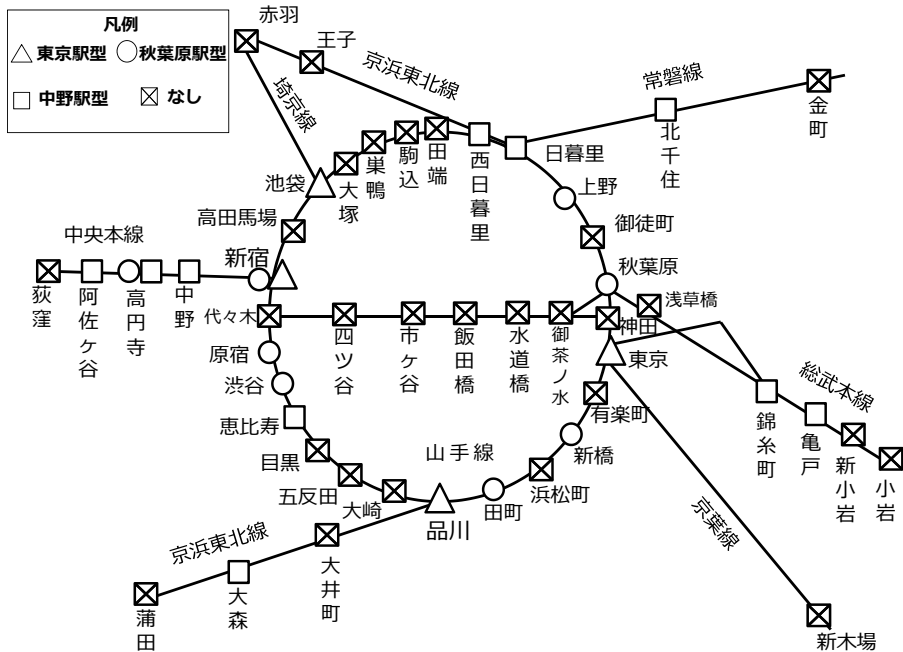
駅名	駅構内図	施設情報	wi-fiマップ	外国語表記	イベントカレンダー
新宿駅	○	○	×	×	×
池袋駅	○	○	×	×	×
東京駅	○	○	×	×	×
渋谷駅	○	○	○	○	×
品川駅	○	○	×	×	×
新橋駅	×	○	×	○	○
秋葉原駅	×	○	○	○	×
北千住駅	×	○	×	×	○
上野駅	×	○	×	○	×
田町駅	×	○	×	○	○
中野駅	○	○	×	×	○
目黒駅	×	○	×	×	○
錦糸町駅	×	○	×	×	○
日暮里駅	×	△	×	×	×
西日暮里駅	×	○	×	×	○
大森駅	×	○	×	×	×
原宿駅	×	△	×	△	×
亀戸駅	×	△	×	×	○
高円寺駅	×	○	×	○	×
阿佐ヶ谷駅	×	○	×	×	○

第4表 地域まちあるきガイドマップの分類

タイプⅠ	東京駅	タイプⅢ	中野駅
	池袋駅		北千住駅
	新宿駅		目黒駅
	品川駅		錦糸町駅
タイプⅡ	秋葉原駅		日暮里駅
	渋谷駅		西日暮里駅
	上野駅		大森駅
	新橋駅		原宿駅
	田町駅		阿佐ヶ谷駅
	高円寺駅		高円寺駅
			新宿駅

れかに○または△がついている駅をタイプⅡ、そのほかの駅をタイプⅢと、3つのタイプに分類した。第4表は、駅の分類をまとめたものである。なお、新宿駅はタイプⅠ、タイプⅢのもの、高円寺駅はタイプⅡ、タイプⅢの地域まちあるきガイドマップが存在したため、表内で駅名が重複している。

タイプⅠの地域まちあるきガイドマップの特徴としては、駅構内図や駅周辺図、鉄道路線図をメインとし、それに付随するようにしてホテルや学校などの施設情報を掲載している点である。このタイプが存在している駅は、多くの鉄道の接続が可能であり、新幹線などの乗り入れのある大きなターミナル駅である。そのため、出張などでその駅を訪れるサラリーマンや、受験などで上京してきた学生、東京から別の地へ移動する訪日外国人など、出来事の出発地点としてターミナル駅を利用する人が多く存在する。よって、地域まちあるきガイドマップを作成するにあたってターゲットを絞り込んだ上で、そのターゲットの需要に合わせた形で地図や路線図メインの構造となっている



第1図 対象駅と地域まちあるきガイドマップの有無・分類
(JR 東日本路線図 <http://www.jreast.co.jp/map/pdf/tokyo.pdf> をもとに作成)

と考える。従って、このタイプを「東京駅型」とする。

タイプⅡの地域まちあるきガイドマップの特徴としては、英語、中国語、韓国語の表記がメインであるもの、または、日本語に付随してそれらの言語表記がなされている点である。さらに、このタイプの中には無料 wi-fi スポットの凡例が地図上に掲載されているものも多くある。パソコンを使用するうえでは必要である場合もあるが、普段の生活の中で日本人が無料 wi-fi にのみ頼らなければならない場面はほぼなく、訪日外国人がスマートフォンなどを使用するときのための無料 wi-fi であり、そのための無料 wi-fi マップであると考えられる。つまり、タイプⅡも東京駅型と同様にターゲットを絞り込んだ上で地域まちあるきガイドマップを作成したものであると考えられるが、そのターゲットは訪日外国人であるように思える。従って、このタイプを「秋葉原駅型」とする。

タイプⅢの地域まちあるきガイドマップの特徴

としては、上記二つとは異なり、街の紹介をメインとしていることである。つまり、ターゲット層は特に定めず、地域住民、観光客、偶然通りかかった人などすべての人がターゲットであると考えられる。そのため、施設情報やイベント項目に力を入れているものが多く存在している。その中でも各々の特色が出るよう、街の魅力を伝える工夫がなされている地域まちあるきガイドマップも存在する。従って、このタイプを「中野駅型」とする。

第1図は、本研究の対象駅の位置とともに、地域まちあるきガイドマップの有無、分類を示したものである。△は東京駅型、○は秋葉原駅型、□は中野駅型で、残りの×は地域まちあるきガイドマップが存在しないことを表す。第1図をみると、東京駅型は4駅、秋葉原駅型は7駅、中野駅型は11駅に存在し、まちあるきガイドマップが存在しない駅は28駅であることがわかる。これらの地域まちあるきガイドマップを一誌ずつ取り上げていく。

割を担っているのである。

Ⅳ 地域まちあるきガイドマップの特徴

1. 東京駅型

東京駅型の地域まちあるきガイドマップは、新宿駅、池袋駅、東京駅、品川駅の4つの駅に存在し、前節で述べた3種類の中で一番数が少なかった。

上記4駅には一般企業発行の「fromSTATION」が存在した。これらは駅周辺案内図、駅構内図、JR路線図が主な項目となっている。それらに付随するようにして、多目的ホールや宴会場、ホテル、クリニックの情報から、大学のキャンパスガイド、留学エージェントの企業や専門学校、英会話専門の学校などの情報が掲載されている。

東京駅型の地域まちあるきガイドマップは、飲食店や施設の情報は掲載されているものの、鉄道路線図や駅周辺の地図がメインであるため、コメントの表記も観光向けというよりは広告向けという印象を受ける。しかし、これら4つの駅は日本を代表する大きな駅であり、本研究の対象駅の上位5駅に入っている。多くの鉄道路線が存在し、新宿駅、池袋駅は乗降者数が1位と2位であり乗り換えに大変便利な駅であること、また、東京駅、品川駅には新幹線が通ることから、観光客が訪れることはもちろん、出張で地方から訪れたサラリーマンや、営業などで普段利用しない駅を乗り換えのため利用するサラリーマンも多く存在するということが考えられる。

また、同様の理由で様々な地から受験生が上京するということも考えられる。そのために、大人数用の居酒屋や、会議室機能を持った多目的ホールなどの広告・地図表記が多く、専門学校の広告・地図表記が多く存在し、ホテル情報の掲載をしていると考えられる。

つまり、東京駅型の地域まちあるきガイドマップは、駅を利用する層をあらかじめ見定め、そのターゲットの需要に合わせて作成されたものであると予想できる。これらは、街の紹介という役割よりはむしろ、目的を持った人がスムーズに行動できるよう、忙しい人の補佐としての地図的な役

2. 秋葉原駅型

秋葉原駅型の地域まちあるきガイドマップは、渋谷駅、新橋駅、秋葉原駅、上野駅、田町駅、原宿駅、高円寺駅7つの駅に存在した。

秋葉原駅の地域まちあるきガイドマップは2種類あり、一つ目は秋葉原駅前商店街振興組合・秋葉原電気街振興会 観光委員会発行「AKIHABARA GUIDE MAP」である。秋葉原駅周辺の案内図に家電量販店、レストランなどの場所を表記したものである。また、つくばエクスプレスの路線図が掲載されており、特に空港の位置を目立たせるような表記をしている。これは、秋葉原駅に訪れる訪日外国人が多く存在するためであると考えられる。さらに、日本在住の者は使用できない訪日外国人のための無料wi-fiスポットも地図中に表記され、フリーペーパーは全て英語表記である。二つ目の秋葉原電気街振興会発行の「秋葉原駅電気街マップ」も家電量販店をメインとした地図であり、こちらは免税店などの情報が一目でわかるような工夫がされている。こちらも無料wi-fiスポットも提示しており、日本語と英語表記がある。秋葉原駅の2誌の地域まちあるきガイドマップは、家電量販店を扱うものという点、訪日外国人に向けた無料wi-fiスポットの表記がある点、外国語表記がある点から訪日外国人をターゲットとして作成されたものであると考えられる。

渋谷駅には4紙誌の地域まちあるきガイドマップが存在した。1誌目の発行者日本達人監修、東急電鉄発行・ぴあ制作の「東京渋谷達人」はショッピングを主なテーマにし、渋谷に立地する飲食店、美術館、映画館などを地図とともに掲載している。また、ホテルの情報も数多くあるうえ、観光ルートマップも掲載し、街の散策にはうってつけのものとなっている。なお、渋谷駅の紹介がメインではあるが、表参道、原宿駅、また、東急電鉄が発行しているため自由ヶ丘駅、二子玉川駅などの方面も補完している。渋谷駅の2誌目の地域まちあるきガイドマップは和テンション株式会社発行「WAttention Tokyo」は渋谷の文化史、

MEN'S SHOES SIZE (メンズシューズ)												
JAPAN	24	24.5	25	25.5	26	26.5	27	27.5	28	28.5		
USA	6	6.5	7	7.5	8	8.5	9	9.5	10	10.5		
UK	5.5	6	6.5	7	7.5	8	8.5	9	9.5	10		
EU	39	40	40.5	41	41.5	42	42.5	43	43.5	44		
LADY'S SHOES SIZE (レディースシューズ)												
JAPAN	22	22.5	23	23.5	24	24.5	25	25.5	26	26.5		
USA	5	5.5	6	6.5	7	7.5	8	8.5	9	9.5		
UK	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5	7	7.5	8		
EU	35	36	37	38	39	40	41	42				

MEN'S WEAR SIZE (メンズウェア)												
JAPAN	S	S	M	M	L	L						
USA / UK	34	36	38	40	42	44						
FRANCE	38	40	42	44	46	48						
ITALY	44	46	48	50	52	54						
SS	S	S	M	M	L	L						
LADY'S WEAR SIZE (レディースウェア)												
JAPAN	5	7	9	11	13	15						
USA	2	4	6	8	10	12						
UK	30	32	34	36	38	40						
FRANCE	34	36	38	40	42	44						
ITALY	36	38	40	42	44	46						

第2図 原宿駅の地域まちあるきガイドマップの各国靴サイズ他早見表
(出典：Takeshita St. MAP 2014)

日本食の紹介、日本人が頻繁に利用する店舗（ユニクロ、TSUTAYA など）の紹介、日本を代表する土産物の紹介など、伝統的な日本の文化を現代日本の文化が入り混じった形で、日本の魅力を伝えている。前者は英語、中国語表記のもの、後者は英語表記のものが存在した。さらに、渋谷駅にはA4サイズの用紙一枚の英語表記のフリーペーパーが2誌存在し、「wi-fi map shibuya」はその名の通り渋谷の無料wi-fiスポットを地図で表したものであり、英語のほかにも韓国語、中国語の表記のみのものもある。もう一つが「map of shibuya station」で、こちらは渋谷の駅構内と都営地下鉄の路線図が英語で記されたものである。以上のように、渋谷駅では4種類の地域まちあるきガイドマップが存在し、現代日本を取り上げたもの、伝統的・歴史的な日本を扱うもの、観光を促進させるサブの役割を果たすものとそれぞれの役割を担っていた。

上野駅の「Welcome to Taito City」は台東区役所観光課発行で、上野駅周辺の案内図、美術館や動物園などの施設の開園時間や料金の記載、さらに、ホテルや警察などの緊急時に利用する施設の電話番号が掲載されている。路線図も表記されているが、成田・羽田空港から上野駅へのアクセスの方法であること、英語・中国語表記であることから、訪日外国人向けに作られたものであると考えられる。

原宿駅の「Takeshita St. MAP 2014」は原宿竹下通り商店街事務局発行で、竹下通りのイラストマップ上に、警察署、トイレ、ファッションショップなどの場所を表記している。また、すべて日本語表記ではあるが、日本・イギリス・アメ

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
渋谷	新宿	銀座	秋葉原	浅草	原宿・青山	上野	東京・丸の内	赤坂・六本木	台場・東京湾
42.50%	41.80%	38.10%	33.60%	33.40%	30.80%	26.50%	26.30%	23.40%	19.70%

第5表 東京を訪れる外国人の訪問先

(網掛けは秋葉原駅型の地域まちあるきガイドマップが存在した駅。公益財団法人東京観光財団 2012年国別外国人旅行者行動特性調査より作成)

リカ・EU諸国の各々の靴サイズ等の表が掲載され、訪日外国人が購買しやすいような気配りも見受けられる(第2図)。原宿駅の地域まちあるきガイドマップは、日本語表記であることからターゲットは日本人がメインで、中野駅型の要因が多いが、上記のような訪日外国人に向けた情報は、中野駅型にはない大きな特徴ともいえるので、ここでは秋葉原駅型に分類した。

以上の4つの駅の地域まちあるきガイドマップには、訪日外国人に向けた様々な工夫がされており、また、第5表をみると訪日外国人が多く訪れる地域であることから、需要を見込んだうえで、ターゲット層を訪日外国人として作成しているということも読み取ることが出来る。日本人以外の降車客のサポートの役割も、地域まちあるきガイドマップは担っているのである。

一方で、第5表のランキングには入らなかった新橋駅、田町駅、高円寺駅の地域まちあるきガイドマップについて述べていく。新橋駅と田町駅には港区産業振興課発行の「ENJOY! WONDERFUL MINATO CITY」があり、こちらは、乃木坂駅から青山一丁目駅までを目指して歩くルートマップに、伝統的な施設の情報、港区に立地している「TORA」のつく店舗・像・通りの特集、港区におけるイベントの名称・日時・最寄駅等が掲載さ

れている。また、すべて英語で表記されている点、日本の伝統文化の伝達を意識している点が秋葉原駅型に分類した要因である。こちらの地域まちあるきガイドマップを発行している港区に着目すると、港区には第5表内で第9位の赤坂・六本木地区があること、東京タワーや浜離宮など、観光客が訪れる地域や施設が存在するということがわかる。そのために、訪日外国人をターゲットとした秋葉原型の地域まちあるきガイドマップが作成されたと考えられる。

高円寺駅の「高円寺観光計画」は内藤一夫氏（高円寺商店街連合会）発行で、高円寺の飲食店、古着店、音楽関係の店舗、お寺を主に写真とコメントを用いて紹介したものである。営業時間などの店舗情報に加え、地図表記もされているため、この冊子のみを持って街を散策することが可能である。また、店舗HPのURLを掲載しており、インターネットでの補完も欠かさず行われている。これらは日本語表記が基本であるのは共通で、英語版、中国語版、韓国語版では各言語が日本語の下に付随しており、訪日外国人に向けた情報提示も十分であるように思えたため、秋葉原駅型に分類した。しかし、丁寧な分野分け、膨大な情報、読み物としての役割をも担うほどの特集記事の質は、高円寺という街の色を強く示しているため、典型的な中野駅型として、街の店舗や施設などをはじめとした地域の活性化に大きな影響をもたらしているものであるように思える。高円寺駅は、新橋駅や田町駅のような観光施設は特に存在しないが、無国籍・多国籍料理を扱う店舗、ライブハウス・古着屋などのサブカルチャーの分野を扱う店舗が多いことから、多言語の地域まちあるきガイドマップを常備し、外国人の誘致や周辺に住む外国人へのアプローチとしての役割を果たしていると考えられる。

以上の秋葉原駅型の地域まちあるきガイドマップは、東京駅型と同様に、ターゲットを訪日外国人と絞り込んだうえで作成されたということは、ほとんどのものに共通していえるが、地域によってアピールするものや、訪日外国人に向けたサービスの表現から街の特色がうかがえるように、地

域まちあるきガイドマップとしての役割はさまざまであることがわかった。

3. 中野駅型

中野駅型の地域まちあるきガイドマップは、新宿駅、中野駅、目黒駅、錦糸町駅、日暮里駅、西日暮里駅、大森駅、荻窪駅、亀戸駅、高円寺駅、阿佐ヶ谷駅の11の駅に存在した。3節では、これらについて述べていく。

中野駅は「新○中野らしさマガジン おこのみっくす」株式会社エフ・スタッフルーム発行で、45店舗もの飲食店の逸品を紹介しており、店舗からは中野駅へのメッセージが設けられている。また、エントリーされた45店舗で飲食した際に、スタンプラリーのシールを集めることで景品がもらえるイベントも実施している。このシールラリーでは、地域まちあるきガイドマップを台紙にするほか、スマートフォンで登録をし、シールのQRコードを読み取るという方法でも参加することが出来、ネットによる補完も行われていることがわかる。飲食店の情報のみならず、接骨院での治療のレポートや、フットサル大会のレポートなど、幅広い分野に特化した特集が組み込まれている。これらすべてに地域住民や店舗主の写真や生の声が記載され、観光客に対しての地域まちあるきガイドマップの域を超え、地域住民への広報の役割をも担っているような重要な存在になっているようにも感じられた。中野駅は中野ブロードウェイが特に有名だが、そこばかりに頼らず、昔から変わらない飲食店舗から、新しく中野にオープンした店舗などで地域の紹介をし、さらに読者、観光者参加型のスタンプラリー（第3図）、お得なクーポン、WEBサイトでの補完に取り組んでいる。観光客の誘致に努めていること以上に、周辺住民が一丸となって地域活性化に取り組む姿勢がこの地域まちあるきガイドマップから垣間見え、地域活性化としての役割としては十分な要素を含んでいるものである。

北千住駅の「千住まちかど美術館」はNPO法人千住芸術村発行で、アートと下町グルメを題材にしたものであり、神社、史跡・記念碑、千住ま

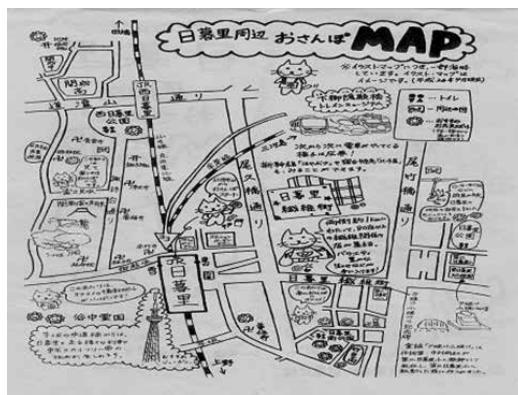


第3図 スタンプリラリー台紙
(出典:新○中野らしきマガジン おこのみっくす)

ちかど美術館は地図中において丸印で目立たせるなどしている。また、そのほかにも銭湯、古美術店、ギャラリーなどの店舗をイラストで掲載している。さらに、アート作品の紹介や、ラジオFM北千住の紹介を掲載している。地域まちあるきガイドマップ内の店舗もコアなものが多く地域密着型である。

目黒駅の「めぐろ WALK」はめぐろ観光まちづくり協会発行で、目黒区の主要駅周辺の散歩コースが記載された地域まちあるきガイドマップである。目黒区の寺社仏閣、美術館、自然公園などの情報が多く掲載されている一方、飲食店店舗の情報はほとんど見受けられないが、そのかわりに商店街や通りの場所を図中に載せることで、読者に選択の幅を広げること、街を自分自身の目で見てもらうことを促しているようにも感じられる。

錦糸町駅には2紙誌の地域まちあるきガイドマップが存在した。一つ目の錦糸町を元気にする会発行の「錦糸町プチ散歩マップ」はイラストマップの中に13の飲食店と12の企業の紹介を盛り込んだものである。二つ目の墨田区観光協会発行の「東京スカイツリー周辺ガイドマップ」は、その名の通り東京スカイツリー、両国・錦糸町エリアの周辺案内図であり、おすすめの飲食店の場



第4図 日暮里駅の地域まちあるきガイドマップ
(出典:日暮里周辺おさんぽMAP 荒川区中心コース)

所を表示し、住所等の店舗情報を表示している。また、イベントスケジュール欄もあり、花火大会、神社例祭、リアル宝探し⁷⁾など幅広い分野の提示があるため、老若男女問わず多くの層の観光客に向けたものであると考えられる。

日暮里駅の「日暮里周辺おさんぽMAP 荒川区中心コース・台東区中心コース」はJR東日本西日暮里駅発行で、地図含むすべてが手書きのイラストマップ(第4図)である。いずれのコースもトイレ、周辺地図の凡例があり、荒川区中心コースにはおすすめお花見スポット、台東区中心コースにはおすすめカメラスポットの凡例がある。また、電車を見るためのおすすめスポットの紹介が記載されているのは、JR東日本の日暮里駅発行ならではの魅力であるように思える。

西日暮里駅には3誌の地域まちあるきガイドマップが存在した。一つ目の、荒川区産業経済部観光振興課、台東区文化産業観光部観光課発行の「日暮里・谷中散策マップ」は、日暮里・谷中エリアの地図であり、主に博物館、寺社仏閣が表記された案内図に加えて、年間のイベント情報、日暮里・谷中の由来が掲載されたシンプルなマップとなっている。二つ目は、荒川区産業経済部観光振興課発行の「荒川区日暮里まちあるきマップ」である。こちらは上記のものとは逆方面の、日暮里・西日暮里駅から三河島駅方面のコースを表記したもので、モノづくりの見学・体験ができるスポット、荒川区民の選んだおすすめの土産物・食

品が購入できる店舗が図中に表記されている。また、散歩ルートも提示され、見どころ、歩行距離、移動時間、消費カロリーの表記もあるため、ウォーキングをするのにも最適なマップである。三つ目も、荒川区産業経済部観光振興課発行の「荒川ブランド モノづくり見学・体験スポットガイド」で、全23のモノづくり見学・体験スポットを紹介し、地図を載せたものである。こちらは事業所・事業者の概要、見学の内容、体験の内容などの詳細を掲載している。以上3誌の西日暮里駅の地域まちあるきガイドマップは全て日本語表記で、外国語表記のものは存在しなかった。西日暮里駅周辺の谷根千エリアは、日本の工芸品づくりの見学や体験ができるような場所は貴重であり、さらに多くの工房が立地していることは区の財産であるので、外国語表記の地域まちあるきガイドマップを増やすなどの対策で、訪日外国人の集客への活動が今後一層盛んになるのではないかとと思われる。

大森駅の「馬込文士村お散歩マップ」は大田区「花子とアン」推進委員会発行で、大森、洗足、山王、馬込をメインとした地図であり、地図の凡例には記念館、博物館、公共施設、史跡・見どころのほか、文士の解説版や「アン」にちなんだスイーツ販売店舗があるのがこの地域まちあるきガイドマップの大きな特徴である。また、大田区馬込周辺地区に住んでいた作家や芸術家の紹介もあり、文学をあまり知らない人でも親しみをもちやすい構成のマップである。

亀戸駅の「福のあるまち 亀戸かいわいぶらりマップ」は、亀戸天神社と亀戸七福神の寺社をメインに、亀戸界隈の飲食店、工芸店などを表記したものである。また、亀戸天神社で行われる年間のイベント情報も掲載されており、イラスト付きで愛着もてるようなデザインである。なお、亀戸駅の地域まちあるきガイドマップは、地図がメインであるものの、イベントカレンダーおよび店舗情報の表記があるため、本研究の対象とした。

高円寺駅のSHOW OFF 発行の「高円寺タウンマガジン」は、26以上もの特集を一冊に凝縮した雑誌のようなものであり、ロックバンドのイ

ンタビュー、古着屋紹介など様々な分野に特化した特集が多く見受けられる。地図の表記はあるものの、あくまでも読み物としての地域まちあるきガイドマップであるように思える。そのため、読者は気になった店舗があれば「自分で調べて訪問する」という行為が必要になるので、主なターゲット層は若者や団塊ジュニア・バブル世代であるかと推測できる。前節で述べたように、高円寺駅には秋葉原駅型の地域まちあるきガイドマップが存在したが、中野駅型の地域まちあるきガイドマップも存在した。このように、高円寺駅の地域まちあるきガイドマップからは、外国人誘致の役割も担いつつ、日本人の様々な年代層へのアプローチも読み取ることが出来る。

阿佐ヶ谷駅の中央線あるあるプロジェクト実行委員会発行の「なみじゃない、杉並!」は、高円寺、阿佐ヶ谷、荻窪、西荻窪の4つの地域をエリアごとに紹介したものである。地図、写真、コメントの他に営業時間などの店舗情報が掲載されているため、一冊を片手に杉並区の散策が可能である。また、専用アプリをダウンロードし、特定のマークを撮影すると杉並区の映像や音声を楽しむことが出来る、AR⁸⁾を駆使したインターネット補完も導入されている。

最後に、新宿駅の一般財団法人新宿観光振興協会発行の「新宿 plus」は、新宿区にゆかりのある著名人のコメントとおすすめの店舗の紹介や、新宿界隈の散歩コースを掲載し、文化施設、飲食店舗などを紹介している。また、新宿駅には、1節で述べたように東京駅型の地域まちあるきガイドマップも存在し、ターミナル駅としての役割を担っているため、関東圏の中でも中心的な存在である。そのため、訪日外国人以外にも日本人観光客や、ショッピングに新宿駅を利用する人は多い。そのような人々に向けたタウンマガジンとしての新宿区の紹介も兼ね備えている。つまり、新宿駅には東京駅型のように次の目的地へ行くための訪問者のサポートを担う一方で、中野駅型のように街を楽しむエンターテインメント性があり、二つの顔を持っているということが分かった。

以上のように、今回の研究では中野型の地域ま

ちあるきガイドマップが一番多く存在するということがわかった。これらの地域まちあるきガイドマップは、地域や街を紹介するといった点で共通するものの、飲食店に着目する地域、寺社仏閣に着目する地域、テレビドラマのロケ地や歴史的人物に着目する地域など、それぞれの特色を全面に押し出している。また、それらの地域の色を出すということからも、スタンプラリーを試みる地域や、散歩コースとして所要時間や消費カロリーを提示する地域、HPのみならずARやアプリを用いた地域などが存在し、中野型という分類の中でひとくくりにしたものの、一誌一誌でまったく異なった個性を垣間見ることができた。

4. 結論

地域まちあるきガイドマップは、対象駅の48駅中20駅に分布しており、紙誌数にして30が存在するということがわかった。また、それぞれの共通点を分析していくと、ターゲット層をサラリーマンや受験生、地方から来た人に絞り、乗り換えをスムーズにできるように作成された「東京駅型」、ターゲット層を訪日外国人に絞り、無料wi-fiスポットの提示や、様々な国の衣類サイズを提示するなどの工夫がされた「秋葉原駅型」、ターゲット層はあまり絞らず、街や地域の紹介・活性化のために作成された「中野駅型」に分類することが可能であった。30紙誌のうち、東京駅型は4紙誌、秋葉原駅型は11紙誌、中野駅型は15紙誌が存在した。東京駅型は新幹線や鉄道が多く走行する乗降者数が多い駅に存在し、秋葉原駅型は訪日外国人が多い地域に存在するという結果が出た。しかしながら、それ以外の地域まちあるきガイドマップに焦点を当てると、第1表の乗降者数ランキングをみると、一部の秋葉原駅型とほとんどの中野駅型は、乗降者数が飛びぬけて多い駅に存在するというわけではないということがわかった。また、地域まちあるきガイドマップの特色という点から見ても、地域の特徴を伝えるための要因の多様性はもちろん、駅の利用者のニーズを優先して作成されたものや、地域の活性化を図るために作成されたもの、街の魅力を伝えるた

めに作成されたものなど、作成意図の差異も読み取ることが可能であった。定義は同様であり、対象地域を狭めているにもかかわらず、東京都内にはこのように多種多様な地域まちあるきガイドマップが存在するということが判明した。

V おわりに

本論文では、狭い範囲での研究を追及するべく、JR東日本乗降者数ランキングベスト100内に対象地域を設定し、どこの駅に、どのような地域まちあるきガイドマップが存在するのかを明らかにした。駅構内の調査はくまなく行ったものの、街中の調査にはいたっておらず、特に商店街を多く所有する地域などには地域まちあるきガイドマップが蔓延っており、地域の活性化に貢献していると考えられる。また、JR東日本以外も調査の余地があり、駅の構成も変わってくるために本論文とは別の結果が出る可能性もある。さらに、シーズンによっては発行されるフリーペーパーの数に変化がみられるため、今回の研究以上の数がラックに設置され、さらなる分類が可能となる場合も考えられる。これらの点は、研究の課題とし、今後の調査につなげていきたいと考えている。

謝 辞

本論文は法政大学に提出した2014年度卒業論文を加筆・修正したものです。本論文を執筆するにあたり、様々なご指導をいただきました法政大学文学部地理学科・伊藤達也教授に深謝いたします。また、多くのご指摘をくださいました伊藤ゼミの皆様、他学部にも関わらず研究の協力を快く引き受けてくださった方々に感謝いたします。

注 記

- 1) フリーペーパーとは、広告収入を元に制作され、無料で配布される印刷媒体のことである。
- 2) 谷中・根津・千駄木界隈の商店で購入可能なものが存在する。
- 3) 参考ホームページ

国土交通省国土地理院 街歩きマップコンテスト
優秀賞作品展示サイト：<http://www.gsi.go.jp/MUSEUM/SOUGO/H16moyo-annai5.htm>

内閣府沖縄総合事務局北部国道事務所 街歩き

マップコンテスト事業サイト：http://www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/news/2004/200405_map/

- 4) ただし、まちあるきマップのオプションとしてクーポンがついているものは対象とする。
- 5) 参考ホームページ
JR 東日本路線図：<http://www.jreast.co.jp/map/pdf/tokyo.pdf>
2013 年度 JR 東日本駅別乗降者数ランキングベスト 100：<http://www.jreast.co.jp/passenger>
- 6) 駅を出て対象範囲を定めて街中に出ると、地域まちあるきガイドマップが設置してある施設の有無によって不平等が生まれてしまうことを懸念して、本研究では対象を駅構内のみとした。また、駅中のビルや商業施設は、店舗数が多く、敷地面積も大きいため、非効率的であると考え、除外する。
- 7) 宝の地図（イベント参加チラシ）を片手に謎を解き、見事宝箱の在り処を見つけキーワードを探し出すことが出来たら、賞品を獲得できるといったイベント。イベントに参加することで必然的に街歩きをし、宝探し目的でも自然と街に目を向けることが出来る。
- 8) Augmented Reality（拡張現実）の略称で、現実

環境にコンピュータを用いて情報を追加する技術。4 章で論じた阿佐ヶ谷の地域まちあるきガイドマップでは、専用のアプリを入れたスマートフォンをマップにかざすと、施設や街並みの動画が流れる仕組みになっていた。

参考文献

- 奥山信一・金森麻紀・塩崎太伸・稲用隆一（2011）：街歩きガイドブックの散策ルートマップにみる東京のイメージ構造。日本建築学会大会学術講演概集 F-2、建築歴史・意匠、95-96。
- 小地沢将之・菅原優花（2012）：フリーペーパーを用いた地域マネジメントへの寄与の可能性。日本デザイン学会春季研究発表大会梗概集、354-355。
- 河内祐香里・森本祥一（2013）：商店街との連携におけるフリーペーパーの作成とその効果の検証。専修大学情報科学研究所所報（80）、25-35。
- 平河内麻紀・川原 晋（2013）：自治体が発行に関与する「地域情報誌」の特徴及び読者評価：行政による行政区域外への情報発信の事例に着目して。首都大学東京機関リポジトリ 観光科学研究（6）、85-93。